

スーパースマイル

2017年（平成29年）夏号（vol.90）くしま矯正歯科通信

545-0011 大阪市阿倍野区昭和町1-21-22 徳山ビル4F

TEL 06-6628-8148 FAX 06-6627-0878

くしま矯正歯科



当院は1982年3月の開院ですので35年が経っています。

35年も経つと、親子の方を矯正したり、ご兄弟を矯正治療させていただいたという症例も珍しくはありません。

お父様、お母様を矯正してその方達のお子様も矯正するという症例もあります。ご家族全員ですね。

また最近では祖母、お母様。お子様の3代にわたり当院で矯正されている患者様も2組おられます。30代や40代の方が成人矯正をされ、改善されるのを見てそのお母様が矯正をされ、またその成人矯正の方の子供さんをさせていただくという場合です。

歯並びの悪さには遺伝の傾向のみられるものが多いです。

ご家族を次々と治療させていただけるのは当院を信用していただいているからであり、喜びとともに責任感も一層感じています。

最近来られた方で20年前に当院で受け口を治療したのですが、お子様の矯正相談に来られました。治療に対する感謝の言葉と共に“ぜひこの子にも先生に治療してほしい”と言われました。歯科医師冥利につける言葉でした。



WIOC 大会に参加しました



院長、副院長と宮本先生そして歯科衛生士の吉田さんが7月2日から4日まで神戸で開催された世界インプラント矯正学会に参加しました。

矯正治療はこの10年くらい急速に発展し 様々な難症例もうまく治せるようになりました。その中でもインプラント矯正は発展したものの一つです。

歯を動かす時は、ほかの歯との間にゴムなどの力をかけて動かすのですが、歯に加えた引っ張る力は、相手の歯には引っ張られる力が発生することになります。「作用・反作用」です。こうなると 相手の歯も位置が変わります。

例えば小臼歯を抜歯して犬歯をその場所に移動するつもりが、大臼歯の方が手前に寄ってそのスペースをとってしまうのです。これを“固定を失った”と表現しています。

従来からヘッドギヤーというもので大臼歯が動かないようにすることが多いですが、患者さんの協力がなければ、言い換えればヘッドギヤーを毎晩使ってくれなければ 大臼歯が動き失敗するのです。

インプラント矯正は 小さなねじのようなものを骨に埋め込み そのねじと歯とを引っ張ります。ねじは骨に埋まっておき 動きませんので歯のみ動くのです。この方法は 日本や韓国で大きく発展しました。

そして今回世界大会が 神戸で行われ 世界中から著名な多くの矯正専門の先生方が集つたり 3日間にわたり有意義な講演や討論がなされました。

従来は抜歯症例と考えられていた症例も歯を抜かずに治せたり、従来の治療方法では外科的矯正と考えられる症例も 手術でなく インプラントを用いて顎の位置を大きく改善出来ることも多く講演され大変勉強になりました。